

かわさき宙と緑の科学館 〔青少年科学館自然学習棟〕 完成しました！！

弊社で携わった青少年科学館(平成22年12月着工)の工事が、本年3月完成し、「かわさき宙と緑の科学館」として平成24年4月28日にオープンしました。オープン前のプラネタリウムの試写や施設見学をさせて頂き、素晴らしい施設の建設に携わることができた喜びを感じることができました。

左の写真は工事の様子を毎月同じ場所から撮影した写真です。(完成はプラネタリウム側から撮影です)建物ができていく様子がおわかり頂けると思います。各工事の担当者が、現場で起こる様々な困難に立ち向かいながら、完成という一つの目標に向けて、それぞれの立場で責任を全うして無事故・無災害で竣工の日を迎えることができました。

多くの方々が気持ちよく時間を過ごして頂けるように、心地良い設備環境が整っているはずです。是非、一度足を運んでみてください。

かわさき宙(そら)と緑の科学館 サイエンスプリン (川崎市青少年科学館)

住所：川崎市多摩区枋形7-1-2

TEL:044-922-4731/FAX:044-934-8659

【開館・投影時間】

展示室：9:30～17:00 (毎週月曜日は休館日)

プラネタリウム：平日は15:00の投影のみ

土・日・祝日と春夏秋冬休み中は10:30・12:00・13:30・15:00

完成！



『アスベストの処理』

～アスベスト調査から廃棄処理まで～

アスベストとは天然にできた繊維で、かつては断熱・絶縁・補強等で建築材料などに幅広く使われておりました。吸い込むと人体に著しく影響がある為、近年では新築現場で使用されなくなりました。現在古い建物解体に発生するアスベストの飛散防止や処理方法などが問題になっており、取扱いには細心の注意が必要になりました。

当社では『石綿(アスベスト)取扱作業主任者』がおり、アスベストの調査から廃棄処理までの資格を取得しております。建物調査 → アスベスト含有物質の撤去 → 産業廃棄処理までを安全確実にを行います。気になる事やお困りの事がある方がいらっしゃれば、是非当社へご一報ください。ご相談は無料にてご対応させて頂いております。

こんな事も

やってます！

毎号で当社の仕事の一部を紹介します。
お客様は当社の仕事ご存知でしたか？

40周年記念社員旅行

平成24年4月22日より24日まで、社員旅行に行っておりました。創業40周年の記念旅行であったので、思い切って韓国まで足をのばしました。旅程の半年前から旅行会社と打ち合せ、パスポートの申請等全ての準備が整うのに前日までかかり、ひやひやしました。

韓国に到着し、すぐさま遺跡巡りへ出発しました。テレビドラマでみる建物や風景とは一味違い、実際の色使いや匂いなどを肌で感じるものが微妙に違っていました。また現地のガイドさんには悠長な日本語で分かり易く説明をして頂き、歴史の一端を楽しく学ぶ事が出来ました。

非武装地帯の南方限界線の近くの都羅山駅や北朝鮮が掘った2m程のトンネルを見学したときは恐怖心が少しばかりこみ上げ、若いさんが銃を持って一日中立っている風景や検問が行われる場所を通過する時などは一段と緊張が増しました。日本と韓国とは全く違う環境であることをつくづく感じました。

食事においても、社員全員満足するもので、初めての韓国旅行を満喫することが出来ました。



非武装地帯は1953年7月27日韓国戦争の休戦協定の締結とともに作られた区域で見えない無形の線、軍事分界線から南北それぞれ2kmずつ(幅4km)朝鮮半島を東から西まで横に渡して延長241km(155マイル)に達する。総面積6,400万坪の広大な地域で、あらゆる軍事行為及び敵対行為を一切中止する緩衝地帯である。とくに休戦以来50年間人跡が絶えた為、各種の動植物が原始そのままの状態繁殖しており、世界的な自然生態系の宝庫として知られてる。



北朝鮮から掘られている韓国侵攻用のトンネルが全部で4本発見された。西部戦線の地域に第1、3トンネル、中部戦線の地域に第2トンネル、そして東部戦線の地域に第4トンネルがある。第4トンネルの発見によって、北朝鮮の全戦線にわたり、トンネル掘削作業が行われていたのが明らかになった。1975年に発見された第3トンネルはソウルからわずか44kmしか離れていないところである。韓国侵攻用のトンネルは1971年9月25日「一つのトンネルは10個の核兵器よりも効果的である」という金日成の教唆の下で1972年5月から特殊工事が行われていた。

その2年後、1974年11月15日、京畿道坡州市高浪浦の非武装地帯内から最初のトンネルが発見された。ここは1968年1月21日、青瓦台奇襲のために武装スパイが侵入してきた隣接地域でもあった。



暑い夏の安全大会

平成24年7月14日に安全大会を行いました。毎年、地元エポック中原にて従業員と協力会社の方々にて行われる行事です。今回は総勢64名の参加となりました。安全大会とは、建築工事に携わる会社として安全の重要性を再確認するために行っている催しで、今回で第14回目を迎えました。

労働災害の中でも建設業の締める災害発生件数は全体の約22%、労働災害による死亡事故発生件数は全体の約35%にのぼるとの厳しいデータもあり、この業界で仕事をしていく上で決して避けて通れない課題でもあります。年に一回この大会を通じ、日頃の工事現場での取り組み方や安全対策の重要性を改めて全員で認識することで、安全堅実な業務を行えるよう社員一同、協力会社様と協力して取り組んでおります。

又、毎回各界よりゲストをお呼びして講演をお願いしております。今回は、ミュージカルや舞台などで活躍されている「秋山エリサさん」をお招きしての講演でした。幼少の頃から厳しい世界に身を置き活躍されているだけあり、仕事に対する姿勢や周囲の方への気配りの大切さなど、貴重なお話しをお伺いすることができました。大会終了後の懇親会では、秋山さんの生の歌声のご披露もあり、大変有意義な催しとなりました。

弊社並びに協力会の会員皆様は昨年度無事故で一年を終えることができました。来年の安全大会も無事故で笑顔で迎えられるように、社員一同気を引き締めて取り組んで参りたいと思います。



秋山エリサさん

鹿友会安全協



南青山少女歌劇団出身。子役時代より舞台を中心に活動中。テレビドラマの出演も多数。祖母がフランス人のクウォーターである。実兄は元ジャニーズ事務所所属の秋山純。

編集後記

▼少しずつ寒さが増してきました。仕事中に温かい飲み物を飲みたくなる機会も多く、自動販売機を見ても「あたたかい」飲み物に切替えが進み、いよいよ本格的な冬がやってくることを感じます。ちなみに自動販売機が「あたたかい」に切り替わる基準は日中の最高気温が20℃になる時期が目安だそうです。近頃、日本の四季は「春・夏・夏・冬」とおっしゃるお客様がいらっしゃいました。確かに猛暑が長く続き、年を追うごとに秋が短くなっているように感じます。「花は里より咲き初(そ)め、紅葉は山より染め初(そ)むる」という言葉がありますが、日本の秋を感じるこの季節、夏の忙しさを忘れ、目の保養に出かけてみたいものです。▼今回、初めてKKSメールの作成に携わり、本年度に完成した竣工物件や社内イベントの思い出など一足早く一年を振り返ることができました。本誌作成にあたり過ぎゆく時の流れに驚き、改めて一年の早さを実感しております。▼季節の変わり目に体調を崩される方も多いかと思います。私も会社で一、二を争う虚弱体質であります。最近、秋の味覚の代表「栗」にも筋肉や骨を丈夫にしたり、胃腸を丈夫にし血液の流れを良くする効果があることを知りました。剥くのが面倒ですが、今年はいつもの年より意識して食べてみたいものです。これからの時期、冬の季節風の影響で風が乱れにわか雨など時雨(しぐれ)現象も多く見られます。皆さま、お風邪など召しませんようにお気をつけください。